

今週（7月24日から7月28日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、当座預金残高が概ね350兆円台後半で推移する中、週を通して弱めの地合いで推移した。無担保コールO/N物は国内勢の調達を中心に、週を通して▲0.08～▲0.045%の幅広いレンジでの出合いが中心となった。目立った資金需給要因が無い中、無担保コールO/N加重平均レートは週を通して低下基調となった。ターム物に関しては、1W～2W物で▲0.05～▲0.04%近辺での出合いが散見された。

固定金利方式の共通担保資金供給オペに関しては、27日に2W物8,000億円、3M物5,000億円がオファーされ、2W物は応札額1,480億円(期落ち分1,591億円)、3M物は応札額220億円(期落ち分220億円)といずれも札割れとなった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.095～▲0.08%の狭いレンジでの取引となった。

24日のS/N(7/26-27)は、▲0.09～▲0.085%の出合い。25日のS/N(7/27-28)も特段大きな需給要因はなく▲0.09～▲0.085%の出合い。26日のS/N(7/28-31)は、週末の3日間を挟むことで投資家の資金調達が強まり▲0.09～▲0.08%の出合いとなった。27日のS/N(7/31-8/1)は▲0.095～▲0.08%の出合い。月末初にあたり投資家の資金調達減少が警戒されたが、短期3M発行要因が重なったことでレート低下は限定的であった。28日のS/N(8/1-2)は▲0.09～▲0.08%の出合い。国債・短期買入オペが通知されたものの、レート横ばいで推移した。

SCは個別銘柄では5y127～131、10y336～347、30y49～54、40y9,10などの銘柄にビットの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、今月の短期買入オペのオファー額が概ね市場予想通りで実施されていることに加え、海外勢の買いニーズも見られたことから品薄感が強まり、週を通して堅調なマーケットとなった。

27日に実施された3M物の入札は、WI取引で▲0.125～▲0.123%と強めの出合いが見られたこともあり、平均落札利回▲0.123%・按分落札利回▲0.1202%と堅調な結果となった。その後のセカンダリー市場では、▲0.133～▲0.127%と強含みで推移した。

28日には、短期買入オペが市場予想通りの5,000億円でオファーされた。結果は平均落札利回較差+0.002%・按分落札利回較差+0.000%と、市場実勢を反映した結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、月末要因から、幅広い業態からの発行が見られ、月末の発行額は約1兆円、週間発行総額1兆8,000億円程度と期落ち額を上回る活況なマーケットとなった。発行レート水準は引き続き投資家の買いニーズが強く、週を通して概ね0%近辺が中心であった。

26日にはCP等買入オペが3,500億円でオファーされた。応札額が5,254億円と少なかったこともあり、平均落札レート0.003%・按分落札レート▲0.002%と前回比（平均0.009%・按分▲0.001%）で小幅にレートが低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/24 (月)	19,975.67	0.065	110.89	△ 0.058	△ 0.088	3,573,300
7/25 (火)	19,955.20	0.065	111.30	△ 0.060	△ 0.089	3,589,600
7/26 (水)	20,050.16	0.075	111.90	△ 0.060	△ 0.089	3,601,200
7/27 (木)	20,079.64	0.065	110.90	△ 0.063	△ 0.084	3,594,300
7/28 (金)	19,959.84	0.070	111.04	△ 0.063	△ 0.077	3,596,400

来週（7月31日から8月4日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/31 (月)	6月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 6月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				7月のシカゴPM景況感指数 7月のユーロ圏消費者物価指数速報値
8/1 (火)		10Y 23,000億円 8/3発行	交付税借入 10,500億円 8/9借入		6月の米個人所得・消費支出 6月の米建設支出 7月のISM 製造業景況指数 4-6月期のユーロ圏GDP1次速報
8/2 (水)	札幌市金融経済懇談会にて布野審議委員講演 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 7月のマネタリーベース(日銀 8:50) 7月の消費動向調査(内閣府 14:00)				
8/3 (木)	8月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TB3M 44,000億円 8/7発行	10Y物価連動 4,000億円 8/7発行	交付税借入 10,500億円 8/14借入	英中銀MPC結果発表 6月の米製造業新規受注・出荷・在庫 7月のISM 非製造業景況指数
8/4 (金)	6月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 9:00)				6月の米貿易収支 7月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/31 (月)	300	31,100	31,400	全店共通 CP買入 社債買入 国債補完	▲1,800 ▲1,500 ▲100 100	1,700 3,500	1,900	33,300	TB3M発行▲44,000償還43100 保険関係の支払
8/1 (火)	1,000	▲8,000	▲7,000	国債買入 短国買入		10,800 5,000	15,800	8,800	
8/2 (水)	1,000	▲49,000	▲48,000				0	▲48,000	年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ 申告所得税揚げ
8/3 (木)	1,000	▲23,000	▲22,000				0	▲22,000	10Y発行▲23000 交付税借入▲10500期日10500
8/4 (金)	0	3,000	3,000				0	3,000	
週間合計	3,300	▲45,900	▲42,600	—	▲3,300	21,000	17,700	▲24,900	

7/31は日銀予想、8/1以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、2日に法人税・年金保険料揚げ、3日に国債の発行と資金不足日が多い週となる。31日は月末で調達を控える先も散見されることから無担保コールO/N加重平均レートは低下が見込まれる。1日以降は、まだ積み期間の中盤であることから、無担保コールO/N加重平均レートはさほど上昇せず、横ばい圏で推移するものと見込まれる。

レポ市場は、▲0.09～▲0.07%程度のレート低めでの推移になると予想するが、積み期後半に入ることによって投資家の資金調達増加によるレート上昇の展開も考えられる。

短国市場は、3日に3M物の入札が予定されている。海外勢のニーズ次第では引き続き堅調なマーケットになることが予想される。また、31日に発表される8月の買入予定額の動向も注目される。

CP市場は、月初で発行案件も少なくなることが想定され、閑散なマーケットになると予想される。

主要なイベントとしては、31日のユーロ圏速報CPI、1日の米個人所得・消費支出、4-6月期のユーロ圏GDP1次速報、3日の英中銀MPC結果発表、4日の7月の米雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様自身でなされまふようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によりリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡する書面や目論見書をよくお読みください。